

共育共創 commons の概要 :

【監修】

隈研吾氏 (岡山大学特別招聘教授)

【設計・施工】

清水建設株式会社

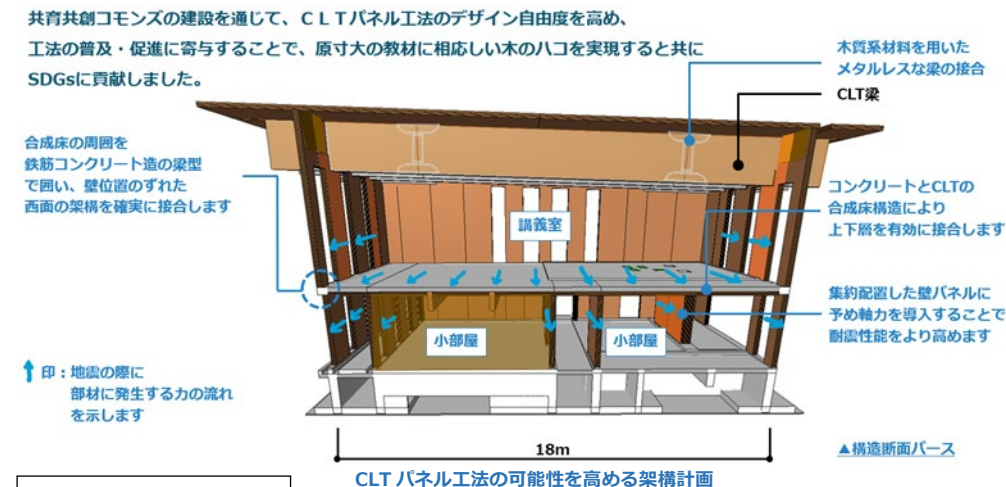
【建物概要】

- ・ 木造 CLT パネル工法 2 階建て 延べ床面積 約 825 m²
- ・ 講義室、企業との共同研究室 等
- ・ 令和 5 年 2 月運用開始 (津島キャンパス 東門正面)
- ・ 学内予算の他、寄附及び国土交通省令和 3 年度サステナブル建築物等先導事業 (木造先導型) 補助金により整備

【事業概要】

- ・ 岡山大学は 2021 年 4 月に、工学部と環境理工学部を再編・統合した新工学部をスタートし、新たに建築教育プログラムを設置しました。これを記念し、300 人収容の大講義室と研究スペースを有する木造 2 階建ての「岡山大学共育共創 commons」を、大学だけでなく地域や企業の皆さまとともに学びあい交流できる「みんなのイノベーション空間」として計画し、隈氏の監修により建築しました。
- ・ 2 階には、セミナーやシンポジウム等様々なイベントにも活用可能で 300 人収容可能な大規模講義室を整備し、新工学部の新たな学び舎として、また木造建築教育の教材として活用します。
- ・ 1 階には、オープンな共同プロジェクトから機密性の高い共同研究まで、フレキシブルに対応できる産学共創スペースを整備しました。海外からの招聘教授をはじめ企業と学生・教職員が集う空間を創出し、共同研究などを促進します。
- ・ この建物は、木造 CLT パネルを活用した最先端の工法を視覚的にも体感できる原寸大の建築教育の教材です。木造 CLT パネルの製造量が日本一の岡山県における木質建築・森林保全活用の教育研究拠点としての役割も担います。持続可能な社会へ SDGs を推進する岡山地域のシンボリックな建物となることを期待しています。

建物の特徴



説明図提供：清水建設株式会社